



日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番

97.7.2 No. 4619

正念場を迎えた国鉄闘争の勝利をめざす

7・13 労働者に結集しよう！ 集会に結集しよう！

労働者の敵！！

JR総連を解体しよう

全ての組合員の皆さん！「正念場を迎えた国鉄闘争の勝利をめざす七・一三労働者集会」への全力結集を訴えます。

「八三〇」路線は
連合化への道だ

国鉄分割・民営化から一〇年が経過する中で、国鉄闘争がこの一〇年の闘いに決着をつける正念場中の正念場を迎えるに至っている。

五月二八日の北海道・九州採用差別事件の行政訴訟の結審に伴い、裁判所から異例の「和解勧告」が行なわれた(日刊四六一五号で既報)。この和解勧告に対して国労本部は「高く評価」するとして、一気に政治決着しようとしている。

しかし、裁判所の勧告にもとづく「和解」とは、実際には国労本部が昨年夏に出した「八・三〇申し入れ」の、①改革法を認める、②JRの発展に寄与する、③一定のメドがつけば一切の紛争案件を取り下げる、という内容にもとづくものであり、これは結局、清算事業団労働者一〇四七名の一〇年間の苦闘を

一切投げ捨てることと同じである。

しかし、一方でこの和解勧告は、一〇四七名を先頭にして不屈に闘いぬかれている国鉄闘争があり、そこが労働者の結集軸になっている限り橋本政権が枕を高くして寝ることもできないところから、国労を揺さぶり、取り込み、連合化させるために出されたものだ。結局、一〇四七名の闘いが敵を追い詰めているのだ。

国鉄闘争勝利に向けて今求められているのは、この一〇年間職場生産点で、当局の不当な攻撃と日々闘いながら頑張りつぎた現場労働者の力と団結力に依拠した原則的な闘いを展開することともに、労働者の敵！！JR総連を解体・一掃することだ。

原則的闘いの中に
本当の勝利がある

動労千葉は、分割・民営化を前後する嵐の中で二波にわたるストライキを闘いぬぎ、二八名の公労法解雇者と清算事業団解雇者一二名を守りぬぎながら解

雇撤回！原職奪還！清算事業団闘争勝利！「JR体制」打倒の旗を高々と掲げながら一〇年間を闘いぬいてきた。強制配転粉砕のストライキ、清算事業団解雇阻止のストライキ、そして勝浦運転区廃止阻止のストライキを頂点としながら職場の怒りを結集してストライキを意気軒高と闘いぬぎ、その結果、公労法解雇の全面撤回！！二八名全員の雇撤回という国鉄労働運動史上でも初めてという重大な勝利

を我がものとしてきたのだ。政府・運輸省・清算事業団に、第一波・第二波ストの公労法解雇が間違っていたということを目撃させたということだ。労働組合が原則を曲げず闘いぬいたとき、そこに本当の勝利があるということだ。われわれは、この勝利のもと国鉄闘争の勝利に向け先頭で闘いぬこう。七・一三労働者集会に職場から全力で結集しよう。

正念場を迎えた国鉄闘争の勝利をめざす

七・一三労働者集会

とき 七月一三日(日)

一・二時から

ところ 労働スクエアー東京
(京葉線/地下鉄日比谷線 八丁堀駅下車)

主催 動労千葉

指定列車

【総武線】
千葉駅八番線 一〇時四六分発快速最後部
蘇我駅 十一時〇七分発快速最後部

